道しるべ

国立市立国立第三中学校
第３学年　進路だより
令和５年７月１８日（火）
№１４

本日、第１回復習確認テストの結果と問題用紙を返却しました。定期テストと同様に大切なのはテスト後の取り組み方です。結果に一喜一憂するだけではなく、苦手克服の好機だと捉えてテスト直しを行ってください。今回の進路だよりでは、受験生としての夏休みの過ごし方を紹介していきたいと思います。

≪「夏休み」の過ごし方≫

夏休み中の心構えをつくろう

しっかりと自分の立てた学習計画に基づいて学習を進めてください。塾の夏期講習に参加する人もいると思いますが、そういう人も毎日少しでも自分で計画した家庭学習をする時間をつくってください。自分で課題を設定し、主体的に課題解決に取り組む勉強方法を確立しておくことが入試直前で生かされてきます。昔から“夏休みは受験の天王山”とか“夏を制する者は受験を制する”といわれています。「人生の中でこんなに勉強したことはない」と自信をもっていえる夏休みを過ごすことができれば、その自信が２学期以降の成績アップにもつながります。夏休み明けには、学習の成果を測る復習確認テストもありますので頑張ってください。

また、機会をつくって、志望校調べや上級学校訪問をしましょう。まだ決定する段階ではありませんが、おぼろげながら自分の中で目標とする上級学校をいくつか候補にあげることは、学習意欲にもつながります。心掛けてください。

過去のテスト結果から苦手分野の確認しよう

１，２年生の範囲をチェックしましょう！入試では約７割が１，２年生に習った範囲から出題されます。しっかりと復習しておきましょう。定期考査や復習確認テストの結果を振り返りながら、苦手としている分野を確認することからはじめてください。また、自分の間違えやすい出題のされ方や間違った解答を選択してしまったときの思考のパターンなどを振り返っておくとケアレスミスの防止に役立つと思います。

夏休み中の計画を立てよう

中学校で行っている定期考査は、授業で学習した内容がそのまま出題されます。言い換えれば出題範囲が限定されています。一夜漬けで乗り切った人もいるかもしれませんが、入試はそうはいきません。時間的にゆとりのある「夏休み」に自分なりの受験勉強の仕方を確立しましょう。

さきほど夏休みには家庭学習が大切と述べました。これまで何回も受験生（卒業生）を送り出してきましたが、その受験生たちがどのくらい夏休みに学習しているかを振り返ってみました。ざっと平均して塾や夏期講習の時間を除いて１日５，６時間くらいは勉強していたと思います。

夏休みは長丁場です。計画的に、規則的に学習を進めていくことが大切です。ここでは、具体的にどのようにして学習計画を立てればいいのか考えてみましょう。

Point！　今年は、夏休みを約３週間として、一週間ずつに区切る。

①　区切りごとに目標（学習するべき内容）を立てる

注意することは張り切りすぎて、あれもこれも一日のうちに詰め込まないことです。途中で息切れをしないように、「今日も一日計画通りやることができた。」と達成感が得られるような学習量で計画を立てるように心がけてください。また、使用する問題集は特に新しいものを用意する必要はなく、授業で使用したものを何遍も繰り返し、やり直して確実にマスターすることが大切です。

②　教科の先生方から学習内容のアドバイス

国語	漢字練習	漢字検定の問題集が効果的です。書きは５級、読みは３級レベルを目標に学習しましょう。
	文法	１年生の文の成分の範囲を中心に復習しましょう。自立語と付属語、体言と用言などいろいろな視点で単語を分類してみましょう。
	古典	教科書の古文を声に出して読み、歴史的仮名遣いのきまりを身に付けておきましょう。漢文などは訓読法などの基本をおさえておきましょう。
	長文読解	新聞の社説などを読み、要点をまとめる練習をしましょう。また、筆者の主張に対する自分の意見もまとめる練習もしましょう。
数学	計算力	「速く」「正確に」が理想です。教科書や問題集を使って、毎日時間を決めてコツコツ反復・練習をし、確実に計算力を身に付けましょう。
	思考力	近年、文章問題や図形問題、動点問題といった思考力が求められる問題が重視されています。多くの問題にふれて経験を増やすことで、問題解決のための発想力を鍛えましょう。
英語	単語や熟語、文法	語句・文法事項の確認は問題演習を利用して学習しましょう。その他にも本文音読・熟読なども行いましょう。
	リスニング、長文読解	テレビの英会話番組の視聴もいいでしょう。英語で書かれた、興味のわく絵本や本、ウェブサイトを見つけて読みましょう。
社会	地理的分野	教科書や『整理と対策』のグラフや資料を読み取り、理解できるようにしておきましょう。雨温図の特徴もおさえておきましょう。
	歴史的分野	自分で年表を作ってみましょう。年表も主題別（人物史・政治史・経済史・争乱史など）に分けてつくるとよいでしょう。
	公民的分野	２学期からの学習に備え、新聞（特に政治、経済分野）を読んでみましょう。また、教科書に目を通し、予習してみましょう。
理科	物理化学分野	教科書に出てくる実験について、自分のノートに手順から考察、結果までまとめておきましょう。問題集を使って数多く問題を解いてみましょう。
	生物地学分野	各単元について基本的な語句やキーワードを確認しておきましょう。天気予報を見るのも勉強です。また、今まで学習した内容を意識しながら、いろいろな植物や動物を観察しましょう。

③　規則正しい生活

夏休み中は生活のリズムが不規則になりやすいものです。冬休みと比べて、受験がまだ先だという気持ちから中だるみをしやすいのも夏休みです。あらかじめ計画の中に調整日を設けるなど、気持ちの張りを持続させる工夫もしていきましょう。継続的な学習習慣が夏休み明けに大きな自信を生み出すはずです。